

小学生のときには鼓笛隊、中学高校では吹奏楽、そして大学ではオーケストラに所属していました。今は吹奏楽部の顧問をさせていただき傍ら、市民吹奏楽団にも所属し吹奏楽に囲まれています。ひとつの音楽を皆で作りに上げるということはとても楽しく、同じ趣味を持った仲間と切磋琢磨することで成長できる喜びを感じています。

幼い頃より音楽が好きで、いつも何か楽器を演奏したり、歌ったりしていました。ただ両親は音を外しながら楽しそうに歌う私を見て、音楽の才能がないと感じ、ピアノなど習わすことをしませんでした。でもやはり音楽は好きで、どうにかして音楽に関わる仕事をしたいと思っていましたところ、高校時の吹奏楽顧問の恩師の影響から、教師を目指し、現在に至ります。

念願の吹奏楽の顧問となり生徒とともによりよい部活動にしていくなかで考え行動していくことはとても楽しく、苦しいこともありましたが、皆で取り組んで乗り越えていくことができました。生徒の成長をみることはとても幸せな瞬間です。その

成長を間近で見ることが出来る教師という仕事に就いてよかったと感じます。生徒から教わることも多く、私も成長させていただきました。

昨今のコロナ禍で思うように活動ができない日々が続いていますが、自分の時間をじっくり過ごすことが多くなり、1つ1つの小さな幸せが身にしみます。授業をする、行事に取り組む、部活動をする、楽器を吹く、健康である、などなど。今まで当たり前だったことが、実はとても大切なことだったと気づくことができた1年だったと思います。生徒たちや先生方、周りの様々な方々が支えてくださるからこそ、吹奏楽(音楽)と教師という好きなことを長い間続けていくことができたのだと思います。だからこそこの当たり前ではない幸せに感謝しながら、私自身もつと成長していきたい、恩返しをしたいかなと思います。

